

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

2023年7月14日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県草津市東草津二丁目3番38号

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

草津電機 株式会社

代表取締役 高田豊郎

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第21条第1項、第22条第2項において準用する同条例第21条第1項）の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	草津電機 株式会社 代表取締役 高田豊郎
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	滋賀県草津市東草津二丁目3番38号

1 事業所の概要

事業所の名称	草津電機 株式会社 本社工場					
事業所の所在地	滋賀県草津市東草津二丁目3番38号					
主たる事業	細分類番号	2	9	9	9	その他の電気機械器具製造業
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	2021	年度	～	2026	年度
報告対象年度	2022	年度			

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	設備導入	工場内天井照明器具についてLED照明に変更検討する。	LED照明器具を食堂、工場第一棟の1階、第二棟の1階～3階に導入済。又、工場内の作業現場の手元の照明約100本の工場内全LED化を2022年度に導入・実施を行った。
2	設備導入	省エネルギーエアコンに変更検討する。	2022年3月に自社のエアコンの7～8割をデマンドコントローラーに接続し、デマンド制御できるようにした。
3	設備導入	太陽光発電を導入する。	2022年1月21日に導入済。工場第二棟屋上に設置。自家消費型(年約68kwh) 2022年以降に寄与。
4	設備導入	油圧機器を電動化する。	2021年度、油圧プレス2台をサーボプレス(電動)に切替済。 2022年度、油圧プレス2台をサーボプレスへ切替。 2023年度以降、油圧プレス5台を自社開発によりサーボプレスに切替予定。
5			
6			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1			
2			
3			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>2022年1月に太陽光発電設備を導入したため、一部自家消費となり、購入電気量が減少し、排出量削減に貢献した。生産設備においても、2023年2月に油圧プレス2台をサーボプレスへ切り替えしたことから省エネ効果が出ている。又、t-CO₂ 1tの、J-クレジットを利用する。(CFPを活用したカーボン・オフセット製品(キャノン複合機)の使用に伴うCO₂排出量相当分をオフセット(代理償却) 「今回報告の排出量 t-CO₂には、含まれていません。」</p> <p>【総排出量の削減要因】 上記の省エネ対策の効果に加え、太陽光発電(記載の内容)、工場内のLED化(記載の内容)により購入電気量が減少し、排出量削減に貢献した。</p> <p>【原単位の減少要因】 原単位の分母である生産高が増加したが、生産数量は増加せず価格転嫁により単価が増加したため、消費エネルギー増とならなかった。</p> <p>① 温室効果ガス削減率(総量) 2030年度 目標:51.7%削減(2013年度対比) 2021年度 実績:58.4%削減 2022年度 実績:68.5%削減</p> <p>② 温室効果ガス削減率(生産高原単位) 2030年度 目標:59.3%削減(2013年度対比) 2021年度 実績:70.1%削減 2022年度 実績:79.4%削減</p> <p>①②とも2030年度目標を達成できたが、今後サプライチェーンからの要請も予想されるため、引き続き温室効果ガスの削減に積極的に取り組む方針である。</p>
--

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況等

(1) 取組の実施状況

取組の内容	取組の実施状況
<p>モータの小型化による材料削減と、より高効率なモータの開発・製造・販売を通じ、温室効果ガス削減に取り組んでおります。</p>	<ul style="list-style-type: none">・磁石補助型シンクロスリラクタンスモータ試験機の開発を行いました。(平成30年滋賀県低炭素社会づくり賞 低炭素化事業部門を受賞した製品)・扁平小型化で高トルク・高効率を実現するアキシアルギャップモータを開発中です。・プレミアム高効率(IE3)モータ製品を開発中です。

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>近年、誘導電動機の高効率タイプの製品を拡大中であり、また誘導電動機よりも高効率である永久磁石同期モータの製造・販売数比率も増加しています。 更なる高効率モータの開発を推進し、モータの小型化に取り組む予定です。</p>
